

こんにちは

-No.36-

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



## 市営駐輪場の値上げも！

9月議会  
報告①

## 「稼げる公共施設」に!?

行政サービスの効率化・コスト削減等を目的とする「コンパクトシティ」を掲げる国の方針にしっかり従う現市政。わたしたちの公共施設はいま、民間事業者にとってビジネスチャンス創出の場となりつつあります。



3月議会では、議会の承認を得なくても市長が認めれば、事業者が利用料金を決められる条例改正が行われました。今回は、駅から遠い駐輪場は料金を値下げする一方で、駅に近い駐輪場を値上げするという提案がされました。営利を目的とするビジネスの考え方そのものです。

また、市は事業者選定に民間提案を重視する為、駐輪事業の他、テレワークブース設置や、こども食堂施設支援等まで提案した事業者が、自公等の賛成多数で決定。(ところが、料金・事業の詳細は今後の協議次第。現段階ではほぼ未確定)

「誰もが安心して駐輪できること」を、利用者は求めているのではないのでしょうか。日々の生活の一部となる駐輪料金は、安心価格も重要です。民間事業者提案を優遇し、市は駐輪場利用者への聞き取りは行っていません。私たちの公共施設をどこへ向かわせるのか?今後の動きも見逃しません。

## コロナ対策の補正予算

### 共産党は反対!

9月議会  
報告②

- PCR検査センター設置
- 中小企業への支援拡充
- 避難所の感染対策

日本共産党市議団が要望してきたコロナ対策・支援が一部予算化されました。

「休校期間中、光熱費や食費の負担が大きかった…」「高齢者施設に勤務。自分が無症状感染者だったら…と、不安」  
「友達と離れて遊ぶの。鬼ごっこもできなくて…」

子育て世帯の支援・PCR検査対象者の拡充・学校現場のきめ細やかな対応も、まだまだ足りていません。

また、補正予算には惨事便乗型ともとれる内容も。

- 市職員の机の買い替え
  - 道路台帳のデジタル化
  - 小中規模公園一括管理委託
- 市民が求めているのは、市民の声を聞いて実態を把握し、市民の命と暮らし最優先の対応です。

## 活動報告・今後の日程

10月18日  
東村山を変える超党派議員  
連盟による議会報告会

市営駐輪場問題や、一人会派議員は、議会運営を協議する委員会にも参加できていない議会の実態をお知らせ。「少数意見が反映されない!」との参加者からの感想も。

10月22日 文部科学省  
への聞き取り

少人数学級を求め、文科省の現状確認と、子どもの実態を報告。文科省は「少人数によるきめ細やかな指導体制の計画的な整備」を盛り込んだものの、まだ検討段階で、具体的予算要求はこれから、と。



裏面につづく…

10月24日  
20区野党の会 街頭宣伝



久米川駅南口で、宮本徹衆議院議員とのトーク形式の街頭宣伝。皆さんからの質問にもお答えします。次回の予定は  
11月7日(土)16時~

# 秋津 沢の堀を住民の憩いの場所に！

湧き水も流れ、長い間秋津で親しまれてきた沢の堀。通学路や散歩道として、四季を感じられる憩いの散策路です。

現在は老朽化により、安全面の確保から閉鎖され、現況復帰をすすめる工事が進められています。

工事中、近隣住民の方から「遊歩道脇の土の部分には、雑草対策としてビニールシートと砂利を敷きつめると聞いて、びっくり！」「四季も何も感じられない沢の堀になるの！？」との心配の声を伺いました。

住民の方と一緒に、担当課職員と現場で話を伺い、住民の要望も伝えました。

市によると、工事が終わるまでは手入れができないため、一時的な対応とのこと。情報が共有されずに一方通行では、誤解や不信にもつながりかねません。

市は、遊歩道脇の利用について今後、住民の皆さんの意見を伺える場を設ける方針であることがわかりました。繰り返し要望をし続けてきた結果です。みなさんの声は、市を動かしていきます。



お隣の清瀬市や所沢市には、せせらぎを生かし、住民が憩える遊歩道があります。地域の方の案内で、散策して来ました。



「毎日、ここを散歩しているんですよ」と、ベンチで休む方のお話も伺えました。自然と水辺に囲まれ、ホッとできる空間です。

憩える沢の堀の実現に向けて、一緒に考えていきませんか？

## 表面からのつつき

### 子どもと先生にとって最大の コロナ対策は 少人数学級！

密状態が解消されずに子ども達が通う学校。文科省の「少人数による指導」と、私たちが求める「少人数学級」には、大きな違いがあります。算数などのつまずきやすい教科は、人数を減らした少人数指導が既に行われています。そのクラス編成は、**進度別（学力別）クラス⇒授業のペース別（子ども自身が選択）**へと対応を変えてきた経緯があるようですが、「学級の分断につながり、好ましくない」との意見が上ります。

一人ひとりが違って当たり前。「お互いに支え合いながら、学級はつくられていく」と、長い教員生活を送られてきた先生のお話です。

「分散登校のとき、先生が優しかった」との感想も。忙しい先生に余裕が無ければ、全て子どもにかえります。そのケアに追われて、先生がまた忙しくなり…悪循環を断ち切らなければなりません。

子どもと先生の笑顔を守るためにも、少人数学級の早急な実現を求めています。

## 核兵器禁止条約が

2021年1月22日に発効

核兵器を持つことも、使うことも、作ることも…全てが禁止される条約です。

このニュースの前号作成中に批准国が増え、修正して発行。なんと、配布中には、条約の発効に必要な50の国と地域に達しました！とても嬉しいニュースです。

「世界中の人々が恐怖や欠乏に怯える事のないよう、誰もが平和の中で生きていく権利が有る」と、日本国憲法は定めています。日本政府が批准することは、唯一の被爆国としても当然のことではないでしょうか。世界中の国々が、同じ過ちを繰り返さないために。

「核兵器の終わりの始まり」  
これは、カナダ在住の被爆者  
サーロー節子さんの言葉です。



条約に批准する日本政府を一緒に作りましょう！

